

研 究 速 報

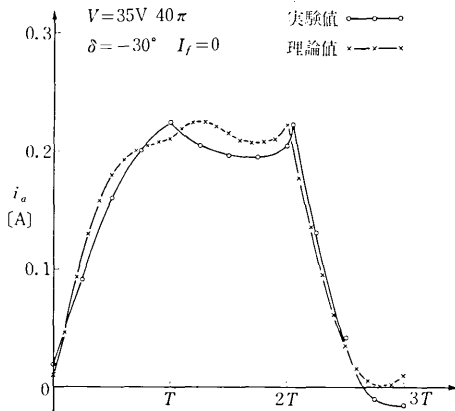


図 15 インバータ出力電流波形 (界磁巻線開路)

の概要を述べ、理論値と実験値とから特性を論じた。

要約すると、①LA SCR を用いることにより電氣的ゲート制御回路のいらぬ簡単な無整流子電動機を組むことができる。

これは、小形機に有効である。②速度制御には界磁電流、入力電圧および負荷角 δ を変えて行なう方法があるが、印加電圧を調整して行なう方法が一番安定してい

第 1 表 供試電動機の定数表

相 数	3
極 数・電 圧	2 Poles 90V (線間)
電機子巻線抵抗 r_a	73 (Ω)
d 軸巻線インダクタンス L_d	0.742 (H)
q 軸巻線インダクタンス L_q	0.234 (H)
d 軸巻線-励磁巻線相互インダクタンス M	0.644 (H)

る。③負荷角を変えることにより直巻特性から分巻特性にいたる広範囲の特性が得られる。④負荷角 δ を 360° にわたり変えることができ、正転逆転が簡単に行なえる。

なお、第 1 表に実験に用いたシンクロ電機の定数を示す。(1971年2月25日受理)

参 考 文 献

- 1) 原島, 柳瀬, 渡辺, 第13回自動制御連合講演会
- 2) F. HARASHIMA, T. YANASE, Y. WATANABE. 生産研究, Vol. 23, No. 1
- 3) G. E Application Note.
- 4) 清水, 近藤, エレクトロニクス, 昭和41年7月

正 誤 表 (4月号)

ページ	段	行	種 別	正	誤
22	右	下2	参考文献	21, 470 (1969)	本誌